

II . 研究成果の刊行に関する一覧表 (平成 23-25 年度)

本研究は 3 年間 (平成 23 年から平成 25 年) の継続研究であり、各年度の研究事業報告書の目次は以下の通りである。

平成 23 年度研究事業報告

目 次

I . 総括研究年度終了報告

- 新型インフルエンザ発生時の公衆衛生対策の再構築に関する研究-
押谷 仁 3

II . 分担研究年度終了報告

- 1 . 新型インフルエンザ発生時の公衆衛生対策の再構築に関する研究
齊藤 玲子他 7
- 2 . 新型インフルエンザの検疫に関するエビデンス収集およびインドネシア
における新型インフルエンザ対応に関する情報収集
砂川 富正他 17
- 3 . インフルエンザに対する個人防護策のレビューと家族内感染における対
策の検討
和田 耕治他 33
- 4 . インフルエンザ対策に関する文献調査およびウェブ構築に関する研究
押谷 仁他 35
- 5 . 地域におけるインフルエンザの流行動態に関する研究
神垣 太郎他 69

- III . 研究成果の刊行に関する一覧表 77

平成 24 年度研究事業報告書

目 次

I . 総括研究報告

新型インフルエンザ発生時の公衆衛生対策の再構築に関する研究- 押谷 仁	1
--	---

II . 分担研究報告

1 . 新型インフルエンザ発生時の公衆衛生対策の再構築に関する研究 齊藤 玲子他	5
2 . 新型インフルエンザに対する公衆衛生対応としての有効な検疫のあり方 に関する研究 砂川 富正他	20
3 . 新型インフルエンザ等対策特別措置法の自治体における公衆衛生対応に 必要なツール開発 和田 耕治他	30
4 . 新型インフルエンザ等発生時の診療継続計画作りに関する研究 吉川 徹他	56
5 . 地域におけるインフルエンザの流行動態に関する研究 神垣 太郎他	132

III . 研究成果の刊行に関する一覧表	135
----------------------	-----

ウェブ

新型インフルエンザ対策に関するエビデンスのまとめ

<http://www.virology.med.tohoku.ac.jp/pandemicflu/>

ガイドライン・マニュアル(3 編)

1. 吉川徹、和田耕治、石丸和宏、押谷仁 . 新型インフルエンザ等発生時の診療継続計画作りの手引き . 2013

http://www.virology.med.tohoku.ac.jp/pandemicflu/i/tool/sinryou_tebiki.pdf

2. 石丸和宏、吉川徹、和田耕治 . パンデミックインフルエンザに対する病院管理体制チェックリスト . 2013

<http://www.virology.med.tohoku.ac.jp/pandemicflu/i/tool/focusonpandemic09.pdf>

3. 和田耕治 . 市町村 (保健所を設置していない) のための新型インフルエンザ等対策特別措置法に関連した行動計画作成ツール

<http://www.virology.med.tohoku.ac.jp/pandemicflu/tool02.html>

発表論文 (英文 6 編、総説 8 編)

原著論文(英文)

1. Hirotsu N, Wada K, Oshitani H. (2012) Risk Factors of Household Transmission of Pandemic (H1N1) 2009 among Patients Treated with Antivirals: A Prospective Study at a Primary Clinic in Japan. PLoS ONE 7(2): e31519.
2. Wada K, Ezoe-Oka K, Smith DR. (2012) Wearing Face Masks in Public During the Influenza Season May Reflect Other Positive Hygiene Practices in Japan. BMC Public Health 12:1065
3. Isawa T, Wada K. (2013) Reasons for and against receiving influenza vaccination in a working age population in Japan: a national cross-sectional study. BMC Public Health 13:647
4. Wada K, Smith DR. (2013) Influenza vaccination uptake among the working age population of Japan: results from a national cross-sectional survey. PloS ONE 8(3): e59272
5. Suzuki T, Ono Y, Maeda H, Tsujimoto Y, Shobugawa Y, Dapat C, Hassan R, Yokota C, Kondo H, Dapat IC, Saito K, Saito R. (2014) Effectiveness of Trivalent Influenza

Vaccine among Children in Two Consecutive Seasons in a Community in Japan.
Tohoku J Exp Med. 232; 97-104.

6. Huo X, Kamigaki T, Mimura S, Takahashi Y, Oshitani H. (2014) Analysis of medical consultation interval between the symptom onset and consultation observed in multiple medical facilities in Odate city, Japan, 2011/2012 and 2012/2013 season. J Infect Chemother (accepted)

原著論文（和文）

なし

総説

1. 押谷仁. (2011)【インフルエンザ-その現状と対応-】 インフルエンザ流行の世界的動向. 化学療法の領域 27 巻 12 号 Page2642-2649
2. 押谷仁. (2012) 【インフルエンザをめぐる最近の進歩】 世界的にみたインフルエンザの動向 鳥インフルエンザを含めて. 呼吸器内科 22 巻 6 号 Page485-489
3. 押谷仁. (2012)【新型インフルエンザは再びおこるか】 我が国の新型インフルエンザ対策. 臨牀と研究 89 巻 12 号 Page1683-1686
4. 押谷仁. (2013) "新型インフルエンザ等"の法的規制を考える 公衆衛生の立場から考える新型インフルエンザ対策. 感染症道場 2 巻 4 号 Page53-56
5. 押谷仁. (2013)【インフルエンザに立ち向かう】 パンデミックインフルエンザ. Mebio30 巻 12 号 Page16-20
6. 石丸知宏, 吉川徹, 和田耕治. 診療継続計画の基礎知識. インフルエンザ 14 巻 3 号 Page 53-58
7. 和田耕治. 企業における鳥インフルエンザ等の感染症対策. 労政時報 3349 号 Page 32-41
8. 石丸知宏, 吉川徹, 和田耕治. 素材・ツールを活用した診療継続計画作り. インフルエンザ 15 巻 1 号 Page 49-54